

2012年3月期 決算補足資料

1. 決算概観	P.1
2. 業績のポイント	P.2
3. 業績の状況(対前年・対予想)	P.3～P.4
4. 主要製品売上の状況	P.5
5. 主な子会社の業績と予想	P.6
6. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	P.7
7. 開発品一覧	P.8～9
【参考資料】	
8. セグメント情報	P.11
9. 損益計算書の概要	P.12～13
10. 貸借対照表の概要	P.14
11. 主な業績項目の推移	P.15
12. 杏林製薬(単体)資料	P.16～19

2012年5月9日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2012年3月期 決算概観(連結)

(単位:百万円)	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	前年比	13年3月期 (予想)	前年比
売上高	90,889	99,764	104,069	103,232	0.8%減	104,700	1.4%増
営業利益	8,952	13,261	16,443	14,464	12.0%減	17,900	23.8%増
経常利益	9,208	14,234	17,110	15,275	10.7%減	18,500	21.1%増
当期純利益	2,037	8,848	10,927	9,231	15.5%減	11,800	27.8%増
1株当たり 当期純利益(円)	27.24円	118.37円	146.21円	123.54円	15.5%減	157.92円	27.8%増
総資産	124,552	137,190	147,234	145,673	1.1%減	—	—
純資産	96,501	104,911	111,706	118,201	5.8%増	—	—

2012年3月期 連結業績(実績)

【売上高】 国内新医薬品事業は平成23年3月の震災に伴う在庫不足を考慮した発注により前年度実績が膨らみ、その反動により前年に対し若干の増加に留まりました。

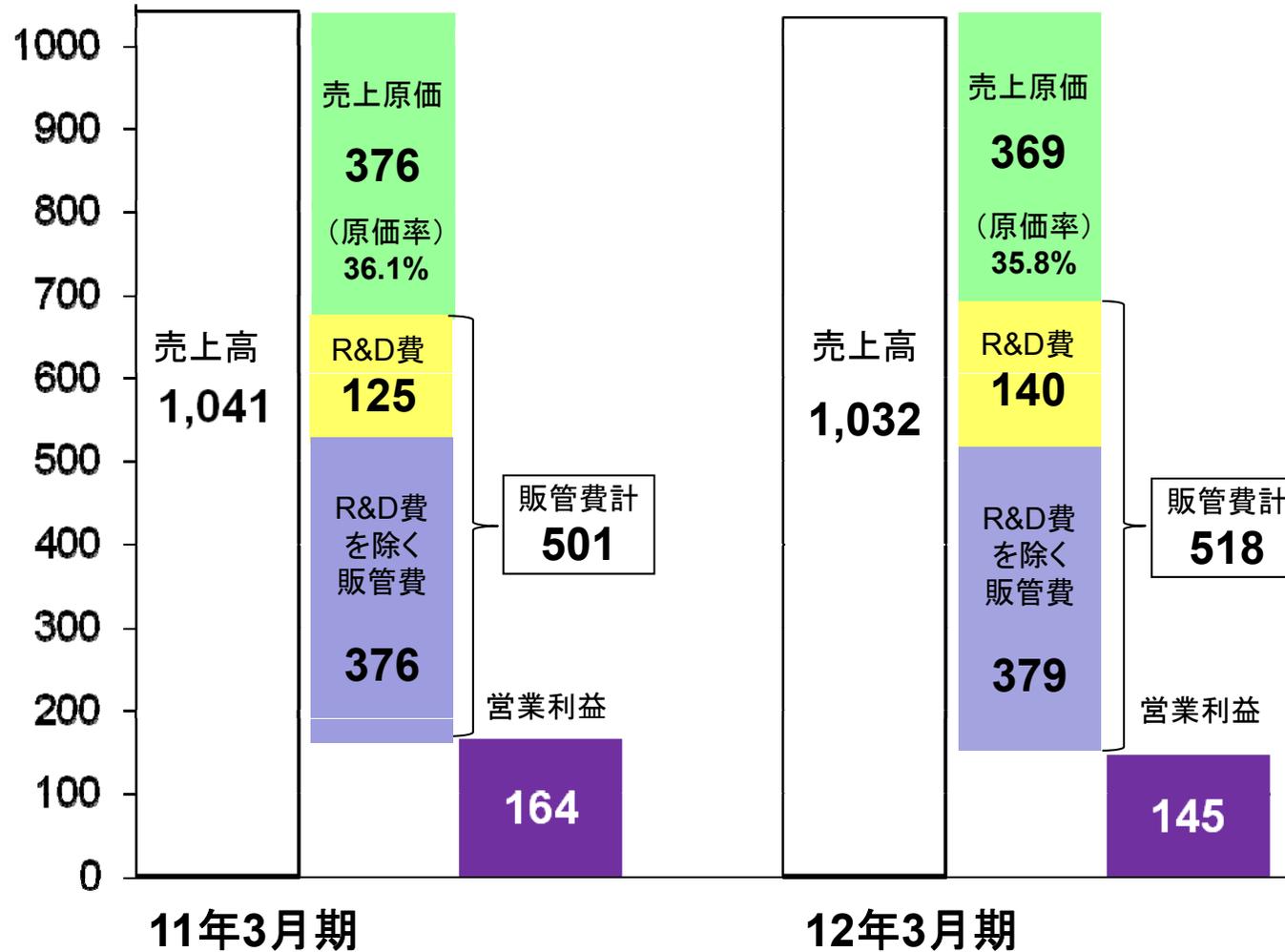
他方、後発医薬品、海外新医薬品、一般用医薬品他及びヘルスケア(スキンケア)事業は前年を下回る実績となりました。その結果、連結売上高は1,032億円(前年比0.8%減)となりました。

【利益】 売上原価の圧縮に努めましたが売上総利益は前年比で2億円減少し、またR&D費増加(前年比11.8%増)等による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は145億円(前年比12.0%減)となりました。また、当期純利益は税制改正による繰延税金資産の取り崩し等の影響により92億円(前年比15.5%減)となりました。

2013年3月期 連結業績(予想)

【売上高・利益】 国内新医薬品及び後発医薬品の伸長およびR&D費の大幅な減少により、売上高は1,047億円(前年比1.4%増)、営業利益は179億円(前年比23.8%増)、当期純利益は118億円(前年比27.8%増)を見込みます。

(億円)



ポイント①

- ◇売上高は9億円減少
- ◇売上原価は7億円減少
 - ・原価率の低い自社製品の売上増
 - ・稼働率の向上、製造費の減少等
- ◇売上総利益は2億円減少

ポイント②

- ◇販管費は17億円増加
 - ・R&D費は15億円増加 (開発パイプラインの進展)

◆営業利益は19億円減少

2012年3月期 業績の状況(対前年)

(単位:億円)

	11年3月期 (実績)	12年3月期 (実績)	対前年
売上高(合計)	1,041	1,032	△9
医薬品事業	1,013	1,007	△6
◆新医薬品	880	880	△0
○国内	853	860	+7
○海外	27	20	△7
◆後発医薬品	89	87	△2
◆一般用医薬品他	44	40	△4
ヘルスケア事業 (スキンケア)	28	26	△2

営業利益	164	145	△19
経常利益	171	153	△18
当期純利益	109	92	△17

■売上高	1,032億円			対前年 (△ 9)
◆医薬品事業	1,007億円			(△ 6)
●国内新医薬品	860億円			(+ 7)
		11.3実績	12.3実績	
・キプレス		345	⇒ 368	(+23)
・ムコダイン		213	⇒ 215	(+ 2)
・ペンタサ		194	⇒ 180	(△14)
・ウリトス		55	⇒ 63	(+ 8)
●海外新医薬品	20億円			(△ 7)
・ガチフロキサシン		22	⇒ 17	(△ 5)
●後発医薬品	87億円			(△ 2)
・震災の影響による販社の売上減、他社受託品の売上減				
●一般用医薬品他	40億円			(△ 4)
・アレルギー用薬の売上減				
◆ヘルスケア事業	26億円			(△ 2)
・ドクタープログラムの売上減少				(△ 2)
■営業利益	145億円			(△19)
◆営業利益率は14.0%と1.8ポイント低下				
●原価率:前年比0.3ポイント低下 (36.1%⇒35.8%)				
原価率の低い自社製品の売上増、稼働率の向上、製造費の減少等				
●研究開発費率:前年比1.5ポイント上昇 (12.0%⇒13.5%)				
* 125億円⇒140億円(15億円増加) (開発パイプラインの進展)				
●販管費率(除R&D費):前年比0.6ポイント上昇 (36.1%⇒36.7%)				
* 376億円⇒379億円(3億円増加)				
■当期純利益	92億円			(△17)
税制改正による繰延税金資産の取り崩し等による影響				
■配当 45円00銭/株(うち、中間配当10円/株)、配当性向36.4%				

2012年3月期 業績の状況(対予想)

(単位:億円)

	12年3月期 (予想)	12年3月期 (実績)	対予想
売上高(合計)	1,051	1,032	△19
医薬品事業	1,022	1,007	△15
◆新医薬品	883	880	△3
○国内	862	860	△2
○海外	21	20	△1
◆後発医薬品	97	87	△10
◆一般用医薬品他	42	40	△2
ヘルスケア事業 (スキンケア)	28	26	△2
営業利益	149	145	△4
経常利益	156	153	△3
当期純利益	101	92	△9

■売上高	1,032億円	対予想	(△19)	
◆医薬品事業	1,007億円		(△15)	
●国内新医薬品	860億円		(△2)	
		12.3予想	12.3実績	
・キプレス		367	⇒ 368	(+ 1)
・ムコダイン		213	⇒ 215	(+ 2)
・ペンタサ		186	⇒ 180	(△ 6)
・ウリトス		66	⇒ 63	(△ 3)
●後発医薬品	87億円		(△10)	
* キョーリン リメディオの売上が未達(重点品及び追補品の売上未達)				
●一般用医薬品	40億円		(△2)	
* アレルギー用薬の売上未達				
◆ヘルスケア事業	26億円		(△2)	
●ドクタープログラムの売上が未達			(△2)	
■営業利益	145億円		(△4)	
● 販管費の圧縮に努め、営業利益の減少を抑制				
* R&D費: 予想142億円⇒実績140億円(△2億円)				
■当期純利益	92億円		(△9)	
・税制改正による繰延税金資産の取り崩し等による影響				

2012年3月期 主要製品売上の状況

(単位:億円)

		08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期		13年3月期 (予想)
						実績	前 同 比	
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	191	252	292	345	368	6.5%	379
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	212	206	209	213	215	0.8%	213
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	88	157	194	194	180	△7.4%	170
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	7	20	37	55	63	15.1%	76
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	54	50	46	40	34	△14.7%	30
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	30	25	22	22	17	△25.6%	15
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	19	18	19	19	19	△0.1%	20

主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬	2011年3月期	2012年3月期
売上高	925	937
営業利益	156	140
当期純利益	107	93

2013年3月期(予想)
946
174
120

キョーリン リメディオ	2011年3月期※	2012年3月期
売上高	103	96
営業利益	8	3
当期純利益	6	3

2013年3月期(予想)
102
4
2

ドクタープログラム	2011年3月期	2012年3月期
売上高	28	26
営業利益	1	1
当期純利益	1	0

2013年3月期(予想)
27
1
0

※卸店販売ルート of 杏林製薬(株)への統合に伴い、初期在庫分として約6億円を売上計上しています

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）

（単位：百万円）

	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期		13年3月期 （予想）
					実績	増減比	
研究開発費	10,826	10,531	11,807	12,495	13,964	11.8%	11,100
設備投資	1,952	1,612	1,291	1,668	1,952	17.0%	3,000
減価償却費	4,536	3,799	2,810	2,458	2,363	△3.9%	2,600

<設備投資の詳細（実績／予想）> （単位：億円）

	11年3月期 （実績）	12年3月期 （実績）	13年3月期 （予想）
工場設備	9	11	13
管理・販売設備	3	4	11
研究用設備	5	4	6

開発品一覧①(2012年5月9日現在)

Ph II b ~ 申請中

※: 前回(2012年3月期 第3四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
申請 (11年11月)		ペンタサ (錠剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	寛解期潰瘍性大腸炎を対象とした新用法・用量 (1日1回投与)	
申請準備中 ※		ペンタサ (坐剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	活動期潰瘍性大腸炎を対象とした新剤型 (1日1回投与)	・新剤型の開発 ・Ph III 終了(12年2月)※
申請準備中 ※	(アメリカ) スカイファーマ : 申請中(09年3月) (欧州) ムンディファーマ : 申請中(10年3月)	KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息 治療剤	イギリス スカイファーマ社	ステロイド(ICS:フルチカゾン)及び長時間作動型β 作動薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤で利便性 やコンプライアンスに優れる	・スカイファーマ社とライセン ス契約(08年4月) ・国内Ph II 終了(10年4月) ・Ph III 終了(12年3月)※
Ph II (08年2月)	Ph II (07年9月)	KRP-104	糖尿病治療剤	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を 抑えることにより血糖低下作用を示す。副作用の 発現が少ない糖尿病治療が期待される	・海外Ph II b 終了(11年3月) ・国内Ph II b 終了(10年3月)

開発品一覧②(2012年5月9日現在)

POCプロジェクト(前臨床～Ph II)

※: 前回(2012年3月期 第3四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph I (10年12月)	Ph II (POC) (10年12月) (ノバルティス)	KRP-203	自己免疫疾患、 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティスとライセンス契約(06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
Ph II (11年8月)	Ph III メルツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約(09年11月)
Ph II ※ (12年2月)	(欧州) アルミラール社 : 申請中(11年7月) (アメリカ) フォレスト社 : 申請中(11年6月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型気管支拡張薬(アクリジニウム) ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い ※吸入器: Genuairを使用	アルミラール社とライセンス契約(11年2月)
臨床試験 準備中※	(欧州) アルミラール社: Ph III (アメリカ) フォレスト社: Ph III	KRP-AB1102F (配合剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	長時間作用型気管支拡張薬(LAMA: アクリジニウム)と長時間作用型β作動薬(LABA: ホルモテロール)の配合剤	
Ph I (11年8月)		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリアー、高い安全性を期待	
Ph I 準備中		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		

その他の事項

- ・緑内障治療剤「アイファガン点眼液錠0.1%」: 2012年5月11日千寿製薬より発売予定 ※
- ・KRP-110は開発を中止し、開発品一覧から削除 ※

参考資料

2012年3月期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
売上高合計	1,032	△9	145	△19
医薬品事業計	1,007	△6	142	△21
◆新医薬品	880	△0		
○国内	860	+7		
○海外	20	△7		
◆後発医薬品	87	△2		
◆一般用医薬品他	40	△4		
ヘルスケア事業計	26	△2	1	△0
調整額	—	—	2	+2

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

損益計算書の概要：連結一①

(単位:百万円)

	11年3月期		12年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	104,069	100.0%	103,232	100.0%	0.8%減	△836
医薬品事業	101,271	97.3%	100,654	97.5%	0.6%減	△617
◆新医薬品	88,020	84.6%	88,011	85.3%	0.0%減	△9
○国内	85,284	81.9%	85,995	83.3%	0.8%増	+711
○海外	2,736	2.6%	2,015	2.0%	26.4%減	△721
◆後発医薬品	8,871	8.5%	8,656	8.4%	2.4%減	△215
◆一般用医薬品他	4,378	4.2%	3,987	3.9%	8.9%減	△391
ヘルスケア事業	2,797	2.7%	2,577	2.5%	7.8%減	△220

<適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社 7 社：杏林製薬(株)
 Kyorin USA,Inc. Kyorin Europe GmbH
 ActivX Biosciences,Inc.
 キョーリン リメディオ(株)
 キョーリン メディカルサプライ(株)
 ドクタープログラム(株)
 持分法適用会社 1 社：日本理化学薬品(株)

<当期のポイント>

- 対前年
- 売上高 103,232百万円 (△837百万円)
 - 国内新医薬品 85,995百万円 (+711百万円)
 - 11.3実績 12.3実績 (億円)
 - ・キプレス 345 ⇒ 368 (+23)
 - ・ムコダイン 213 ⇒ 215 (+2)
 - ・ペンタサ 194 ⇒ 180 (△14)
 - ・ウリトス 55 ⇒ 63 (+8)
 - 海外新医薬品 2,015百万円 (△721百万円)
 - ・ガチフロキサシン 22 ⇒ 17 (△5)
 - 後発医薬品 8,656百万円 (△215百万円)
 - * 震災の影響による販社の売上減、他社受託品の売上減
 - 一般用医薬品等 3,987百万円 (△391百万円)
 - * アレルギー用薬の売上減
 - ヘルスケア 2,577百万円 (△220百万円)
 - * ドクタープログラムの売上減

損益計算書の概要：連結一②

(単位:百万円)

	11年3月期		12年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	104,069	100.0%	103,232	100.0%	0.8%減	△836
売上原価	37,554	36.1%	36,926	35.8%	1.7%減	△628
売上総利益	66,514	63.9%	66,306	64.2%	0.3%減	△208
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	50,071 (12,495)	48.1% 12.0%	51,842 (13,964)	50.2% 13.5%	3.5%増 11.8%増	+1,770 +1,468
営業利益	16,443	15.8%	14,464	14.0%	12.0%減	△1,978
営業外収益	769	0.7%	879	0.9%	14.3%増	+109
営業外費用	102	0.1%	67	0.1%	33.7%減	△34
経常利益	17,110	16.4%	15,275	14.8%	10.7%減	△1,834
特別利益	141	0.1%	22	0.0%	84.4%減	△119
特別損失	115	0.1%	34	0.0%	69.6%減	△80
税金等調整前 当期純利益	17,136	16.5%	15,262	14.8%	10.9%減	△1,874
法人税・住民税 及び事業税	5,944	5.7%	5,179	5.0%	12.9%減	△764
法人税等調整額	265	0.3%	851	0.8%	221.1%増	+586
当期純利益	10,927	10.5%	9,231	8.9%	15.5%減	△1,696

<当期のポイント>

◆原価率：前年比0.3ポイント低下
(36.1%→35.8%)

* 原価率の低い自社製品の売上増、稼働率の向上、製造費の減少等

◆研究開発費率：前年比1.5ポイント上昇
(12.0%→13.5%)

* 125億円→140億円(約15億円増加)
開発パイプラインの進展

◆販管費率(除R&D費)：前年比0.6ポイント上昇
(36.1%→36.7%)

* 376億円→379億円(約3億円増加)

■営業利益 14,464百万円 (△1,978百万円)

* 営業利益率は14.0%と1.8ポイント低下

■当期純利益 9,231百万円 (△1,696百万円)

■配当 45円00銭

貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	11年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	104,427	70.9%
現金及び預金	25,518	—
受取手形及び売掛金	42,594	
有価証券	6,976	
棚卸資産	20,364	
その他流動資産	8,973	
固定資産	42,806	29.1%
有形固定資産	14,916	—
無形固定資産	816	
投資その他	27,073	
資産合計	147,234	100.0%

流動負債	30,421	20.7%
支払手形及び買掛金	10,852	—
その他流動負債	19,569	
固定負債	5,105	3.5%
負債合計	35,527	24.1%
株主資本	112,076	76.1%
その他の包括利益累計額	△370	△0.3%
その他有価証券評価差額金	△137	—
為替換算調整勘定	△232	
純資産合計	111,706	75.9%
負債及び純資産合計	147,234	100.0%

12年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
99,850	68.5%	△4,576
21,615	—	—
45,067		
7,372		
20,738		
5,056		
45,822	31.5%	+3,015
14,544	—	—
846		
30,431		
145,673	100.0%	△1,561

23,385	16.1%	△7,036
9,043	—	—
14,341		
4,086	2.8%	△1,019
27,471	18.9%	△8,056
117,931	81.0%	+5,854
269	0.2%	+640
537	—	—
△267		
118,201	81.1%	+6,494
145,673	100.0%	△1,561

<当期のポイント>

■ 流動資産：4,576百万円減

- ・現金及び預金の減少 (3,902百万円減)
- ・受取手形及び売掛金の増加 (2,473百万円増)
- ・有価証券の増加 (395百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (374百万円増)
- ・その他流動資産の減少 (3,917百万円減)

■ 固定資産：3,015百万円増

- ・有形固定資産の減少 (372百万円減)
- ・無形固定資産の増加 (29百万円増)
- ・投資その他の増加 (3,357百万円増)

■ 流動負債：7,036百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (1,809百万円減)
- ・その他流動負債の減少 (5,227百万円減)

■ 固定負債：1,019百万円減

主な業績項目の推移：連結

(単位:百万円)	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期 (予想)
売上高 (輸出高)	81,070 (4,367)	90,889 (3,830)	99,764 (2,693)	104,069 (2,784)	103,232 (2,059)	104,700 (1,900)
売上原価 (売上原価率)%	31,757 (39.2%)	36,791 (40.5%)	37,477 (37.6%)	37,554 (36.1%)	36,926 (35.8%)	—
販売費及び一般管理費 (販管費率)%	43,061 (53.1%)	45,146 (49.7%)	49,025 (49.1%)	50,071 (48.1%)	51,842 (50.2%)	—
うち研究開発費 (研究開発費率)%	10,826 (13.4%)	10,531 (11.6%)	11,807 (11.8%)	12,495 (12.0%)	13,964 (13.5%)	11,100 (10.6%)
営業利益 (営業利益率)%	6,251 (7.7%)	8,952 (9.8%)	13,261 (13.3%)	16,443 (15.8%)	14,464 (14.0%)	17,900 (17.1%)
経常利益 (経常利益率)%	6,643 (8.2%)	9,208 (10.1%)	14,234 (14.3%)	17,110 (16.4%)	15,275 (14.8%)	18,500 (17.7%)
当期純利益 (当期純利益率)%	2,189 (2.7%)	2,037 (2.2%)	8,848 (8.9%)	10,927 (10.5%)	9,231 (8.9%)	11,800 (11.3%)
一株当たり当期利益(円)	29.26円	27.24円	118.37円	146.21円	123.54円	157.92円
資本金	700	700	700	700	700	—
総資産	122,398	124,552	137,190	147,234	145,673	—
株主資本	96,401	97,513	104,907	112,076	117,931	—
純資産	97,184	96,501	104,911	111,706	118,201	—
一株当たり純資産(円)	1,298.89円	1,290.67円	1,403.60円	1,494.83円	1,581.94円	—
自己資本利益率%	2.2%	2.1%	8.8%	10.1%	8.0%	—
自己資本比率%	79.4%	77.5%	76.5%	75.9%	81.1%	—
人員(人)	2,003人	2,247人	2,246人	2,294人	2,297人	—
設備投資	1,952	1,612	1,291	1,668	1,952	3,000
減価償却費	4,536	3,799	2,810	2,458	2,363	2,600

損益計算書の概要：杏林製薬一①

(単位:百万円)

	11年3月期		12年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	92,531	100.0%	93,697	100.0%	1.3%増	+1,165
医薬品事業	92,531	100.0%	93,697	100.0%	1.3%増	+1,165
◆新医薬品	87,927	95.0%	87,899	93.8%	0.0%減	△27
○国内	85,284	92.2%	85,995	91.8%	0.8%増	+711
○海外	2,642	2.8%	1,904	2.0%	28.0%減	△738
◆後発医薬品	1,932	2.1%	3,206	3.4%	65.9%増	+1,273
◆一般用医薬品他	2,671	2.9%	2,591	2.8%	3.0%減	△80

<当期のポイント>

	対前年	
■ 売上高	93,697百万円	(+1,165百万円)
● 国内新医薬品	85,995百万円	(+711百万円)
	11.3実績	12.3実績 (億円)
・ キプレス	345	⇒ 368 (+23)
・ ムコダイン	213	⇒ 215 (+2)
・ ペンタサ	194	⇒ 180 (△14)
・ ウリトス	55	⇒ 63 (+8)
● 海外新医薬品	1,904百万円	(△738百万円)
・ ガチフロキサシン	22	⇒ 17 (△5)
● 後発医薬品	3,206百万円	(+1,273百万円)
・ 主にキョーリン リメディオ物流統合による影響		
● 一般用医薬品他	2,591百万円	(△80百万円)
・ ミルトン	19	⇒ 19 (△0)

損益計算書の概要：杏林製薬一②

(単位：百万円)

	11年3月期		12年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	92,531	100.0%	93,697	100.0%	1.3%増	+1,165
売上原価	31,227	33.7%	32,046	34.2%	2.6%増	+818
売上総利益	61,304	66.3%	61,650	65.8%	0.6%増	+346
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	45,658 (11,867)	49.3% (12.8%)	47,679 (13,472)	50.9% (14.4%)	4.4%増 13.5%増	+2,020 +1,604
営業利益	15,645	16.9%	13,971	14.9%	10.7%減	△1,673
営業外収益	1,138	1.2%	1,179	1.3%	3.7%増	+41
営業外費用	54	0.1%	24	0.0%	54.9%減	△29
経常利益	16,729	18.1%	15,126	16.1%	9.6%減	△1,602
特別利益	127	0.1%	22	0.0%	82.7%減	△105
特別損失	80	0.1%	22	0.0%	71.8%減	△57
税引前当期純利益	16,776	18.1%	15,126	16.1%	9.8%減	△1,650
法人税・住民税 及び事業税	5,856	6.3%	5,100	5.4%	12.9%減	△755
法人税等調整額	187	0.2%	751	0.8%	299.9%増	+563
当期純利益	10,732	11.6%	9,274	9.9%	13.6%減	△1,458

＜当期のポイント＞

◆原価率：前年比0.5ポイント上昇
(33.7%→34.2%)

* 上昇要因：キョーリンリメディオの物流統合
* 低下要因：原価率の低い自社製品の売上増、稼働率の向上、製造費の減少等

◆研究開発費率：前年比1.6ポイント上昇
(12.8%→14.4%)

* 119億円→135億円（約16億円増加）
増加要因：（開発パイプラインの進展）

◆販管費率(除R&D費)：前年比横ばい
(36.5%→36.5%)

■営業利益 13,971百万円 (△1,673百万円)
* 営業利益率は14.9%と2.0ポイント低下

■当期純利益 9,274百万円 (△1,458百万円)

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位:百万円)

	11年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	84,458	68.9%
現金及び預金	15,123	
売掛金	39,184	
有価証券	6,913	—
棚卸資産	16,739	
その他流動資産	6,498	
固定資産	38,202	31.1%
有形固定資産	11,894	
無形固定資産	235	—
投資その他	26,073	
資産合計	122,661	100.0%

12年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
80,542	66.0%	△3,916
9,444		
42,046		
7,309	—	—
17,877		
3,863		
41,443	34.0%	+3,240
11,497		
388	—	—
29,558		
121,985	100.0%	△675

流動負債	22,723	18.5%
支払手形及び買掛金	7,050	—
その他流動負債	15,673	
固定負債	4,364	3.6%
負債合計	27,087	22.1%
株主資本	95,719	78.0%
評価・換算差額等	△146	△0.1%
純資産合計	95,573	77.9%
負債及び純資産合計	122,661	100.0%

16,526	13.5%	△6,197
6,609	—	—
9,916		
3,281	2.7%	△1,082
19,807	16.2%	△7,280
101,652	83.3%	+5,932
525	0.4%	+671
102,177	83.8%	+6,604
121,985	100.0%	△675

<当期のポイント>

■流動資産：3,916百万円減

- ・現金及び預金の減少 (5,678百万円減)
- ・売掛金の増加 (2,861百万円増)
- ・有価証券の増加 (395百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (1,138百万円増)

■固定資産：3,240百万円増

- ・有形固定資産の減少 (397百万円減)
- ・無形固定資産の増加 (152百万円増)
- ・投資その他の増加 (3,485百万円増)

■流動負債：6,197百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (441百万円減)
- ・その他流動負債の減少 (5,756百万円減)

■固定負債：1,082百万円減

主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位:百万円)	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期 (予想)
売上高 (輸出高)	70,480 (4,155)	77,962 (3,148)	85,308 (2,563)	92,531 (2,642)	93,697 (1,904)	94,600 (1,800)
売上原価 (売上原価率)%	25,217 (35.8%)	29,551 (37.9%)	28,374 (33.3%)	31,227 (33.7%)	32,046 (34.2%)	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	38,319 (54.4%)	39,894 (51.2%)	43,795 (51.3%)	45,658 (49.3%)	47,679 (50.9%)	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	9,959 (14.1%)	10,056 (12.9%)	11,121 (13.0%)	11,867 (12.8%)	13,472 (14.4%)	10,300 (10.9%)
営業利益 (営業利益率)%	6,942 (9.8%)	8,517 (10.9%)	13,139 (15.4%)	15,645 (16.9%)	13,971 (14.9%)	17,400 (18.4%)
経常利益 (経常利益率)%	7,328 (10.4%)	9,463 (12.1%)	14,580 (17.1%)	16,729 (18.1%)	15,126 (16.1%)	18,500 (19.6%)
当期純利益 (当期純利益率)%	3,776 (5.4%)	4,041 (5.2%)	9,472 (11.1%)	10,732 (11.6%)	9,274 (9.9%)	12,000 (12.7%)
一株当たり当期利益(円)	50.85円	54.42円	127.54円	144.51円	124.88円	—
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	—
総資産	104,910	108,522	119,822	122,661	121,985	—
株主資本	86,140	89,328	95,384	95,719	101,652	—
純資産	86,792	88,470	95,505	95,573	102,177	—
一株当たり純資産(円)	1,168.63円	1,191.24円	1,285.95円	1,286.87円	1,375.79円	—
自己資本利益率%	4.4%	4.6%	10.3%	11.2%	9.4%	—
自己資本比率%	82.7%	81.5%	79.7%	77.9%	83.8%	—
人員(人)	1,517人	1,716人	1,724人	1,804人	1,798人	—
設備投資	1,350	969	1,051	1,019	1,425	2,200
減価償却費	3,844	3,042	2,198	1,968	1,790	1,900